

仕 様 書

1. 件 名 市川市終末処理場曝気槽散気装置清掃業務委託
2. 委託場所 市川市東菅野 2 丁目 2 3 番 1 号
3. 工 期 令和 7 年 1 1 月 2 5 日から
令和 8 年 2 月 2 7 日まで
4. 委託概要 市川市終末処理場の曝気槽に設置されている散気装置を段階的に全数取り外し、内外面及び散気孔の洗浄を行うとともに消耗部品を交換し、再取り付けを行うもの。
5. 委託内容 別紙「曝気槽散気装置清掃業務手順」のとおり
6. 提出書類
 - (1) 着手届
 - (2) 業務責任者通知書
 - (3) 業務計画書
(工程表、業務担当者及び作業従事者名簿、緊急時連絡先を含む)
 - (4) 作業日報
 - (5) 完了届 (様式 1)
 - (6) 報告書・業務写真
7. 一般事項
 - (1) すべての作業は、本仕様書によって実施するものとする。
 - (2) 作業に当たっては、関係法令および技術基準を遵守すること。
 - (3) 業務責任者は、常に従事者の監督に当たるとともに、委託者と緊密に連絡をとること。
 - (4) 作業手順・時間等については施設の維持管理業務に支障が生じないよう委託者と打ち合わせの上、決定すること。
 - (5) 本委託に必要な資材置場・作業場・休憩所・トイレ等は、無償貸与とする。ただし、場所については委託者と打ち合わせのうえ決定すること。
 - (6) 計画書や報告書等、複数頁の書面を委託者に提出する際、受託者は両面印刷により、極力、用紙枚数を削減すること。

- (7) 業務計画書（報告書）の様式は、A4 紙ファイル表表紙・背表紙付きとし、上段から順にテプラ等を用いて次の記載を行うこと。
- ・令和 7 年度
 - ・市川市終末処理場 ○○○○業務委託（委託件名）
 - ・業務計画書（報告書）
 - ・（受託者名）
- (8) 受託者は業務遂行にあたり、各作業を明確に把握できるように作業前・作業中・作業後及び取り外し材料の写真を実施項目ごとに同位置から撮影し、整理して報告書と共に提出すること。なお、これに要する経費は受託者の負担とする。
- (9) 写真撮影時は、撮影場所に委託名、委託場所、作業内容、受託者名を記した看板を掲示するものとし、これが困難な場合には写真台帳に同様のコメントを付記すること。
- (10) 受託者は、自らの責に帰すべき理由により、委託者の施設及び器物を損壊、または汚損した場合には相当する損害賠償の責務を負うものとする。
- (11) 本委託により発生した産業廃棄物は、受託者にて適正に処分すること。
- (12) 受託者は作業完了時に市の検査を受けること。検査で不十分な点があると指摘された場合は、委託者の指示に従い速やかに是正すること。
- (13) 引き渡し日から起算して半年の間に明らかに受託者の作業の不備に起因すると認められる重大な不具合が生じた場合は、無償にて迅速に修理または是正を行うこと。
- (14) 改正健康増進法が令和 2 年 4 月 1 日より全面施行されたことに伴い、敷地内は全面禁煙であり、駐車車両内であっても喫煙してはならない。
- (15) 本仕様書に定めのない事項、及び疑義の生じた事項への対応は、委託者と受託者が都度書面をもって協議のうえ、定めるものとする。

8. 特記事項

- (1) 本委託において使用する止水キャップ、O リング、ゴムジョイントは、市支給品とする。枝管用止水キャップ、O リング、ゴムジョイントは原則として全て交換・取付けすること。
- 使用する機材については受託者の負担とすること。
- (2) 散気装置の止水キャップ口と止水キャップは、はめあいが緩いと外れやすくなることから、きつく取り付けられる止水キャップを選択して取り付けることとし、結束バンドを使用して固定することを原則とする。結束バンドは委託者が支給する。
- (3) 既設のコンセント及び蛇口から使用する電力及び洗浄水（再生水または

井戸水)は無償で提供するが、燃料費は受託者の負担とする。

- (4) 次回の参考資料とするため、消耗品は全てにおいて破損・脱落の有無を確認し、その内容を業務報告書に記載すること。
- (5) 受託者は、清掃及び再取り付けが完了した散気装置であっても、パイプ固定用六角ナットや止水キャップ等の取り付けが不十分であると委託者から指摘を受けた箇所は、指示に従い速やかに是正すること。
- (6) 作業で使用する汎用工具は、原則として受託者が用意すること。

9. 添付資料

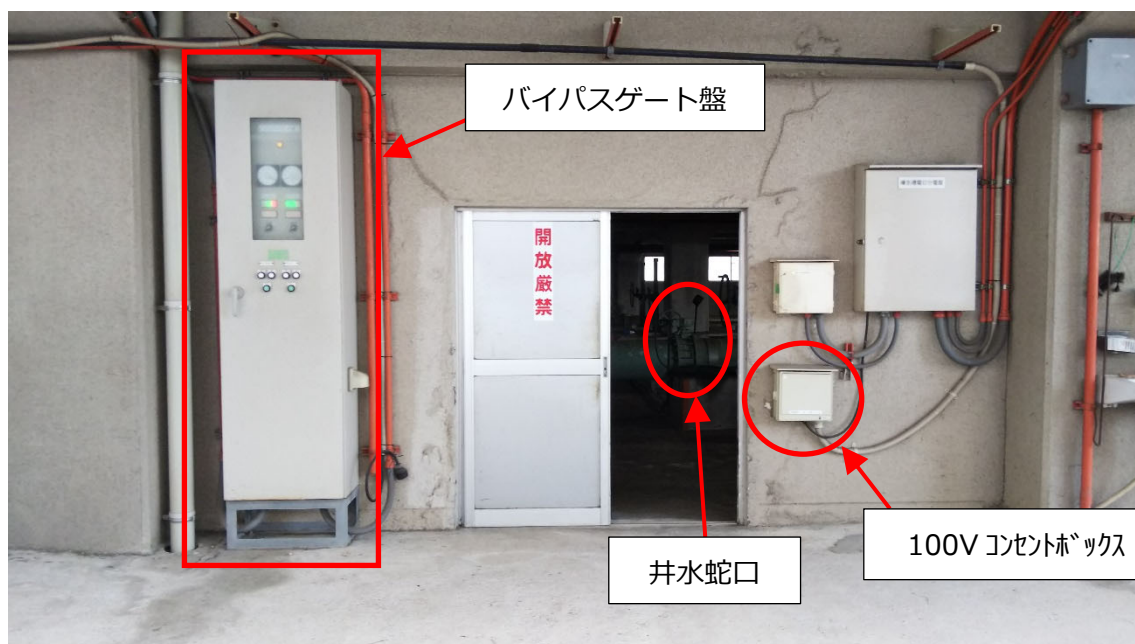
- (1) 曝気槽散気装置清掃業務手順
- (2) 関係図面
 - ・ 場内案内図
 - ・ 散気装置配置断面図
 - ・ 散気装置詳細図

6. 完了年月日 令和 年 月 日

曝気槽散気装置清掃業務手順

【作業準備】

- ① 曝気槽建屋外に設置されているバイパスゲート盤内のチェンブロック用ブレーカ(200V)が OFF となっていることを確認する。



- ② 絶縁抵抗を測定し、異常がないことを確認する。



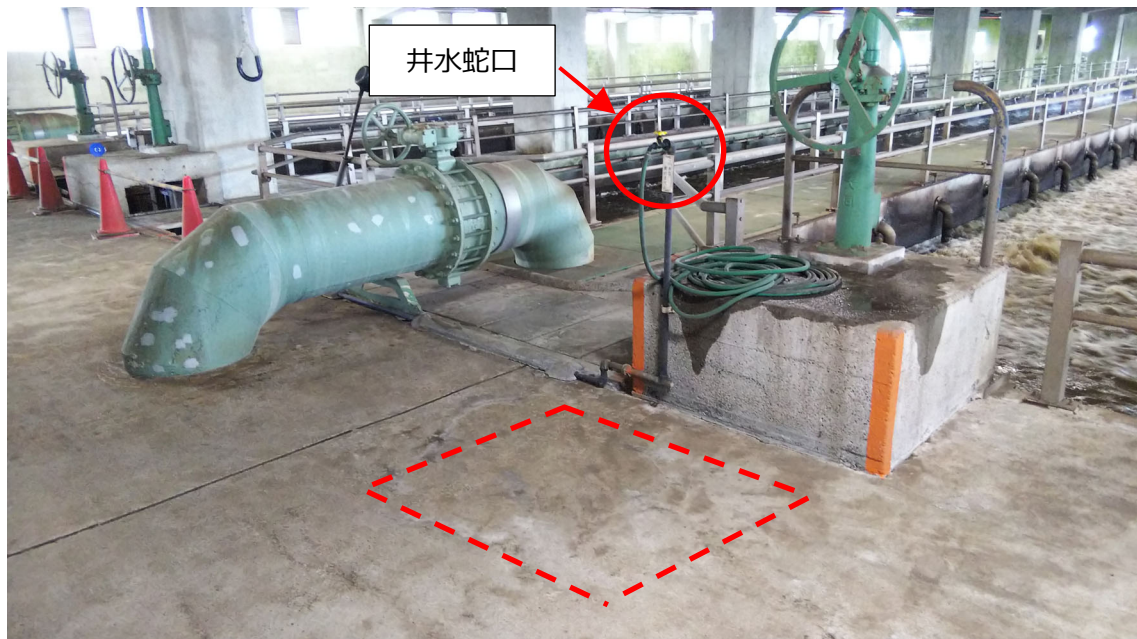
- ③ 取り外す散気装置の通路上にあるレールにチェーンブロック（支給）を取り付け、電源コンセントを接続する。



- ④ バイパスゲート盤内のチェーンブロック用ブレーカを ON とし、室内天井に付いている電源ランプが点灯することを確認する。



- ⑤ 井水蛇口近傍に給水タンクを設置し、高圧洗浄機の給水管を接続する。



高圧洗浄機に電源(100V)が必要な場合は、曝気槽建屋外の 100V コンセントボックス内コンセントに接続する。

【実作業】

- ①取り外す散気装置、両側 2 組分のバルブを閉める。これによって、計 5 組の散気装置が休止した状態となる。
- ②高圧洗浄ノズルを用いて散気装置外周を洗浄する。



- ③治具（貸与）を曝気槽内に設置し、散気装置固定用ナットを外す（工具は準備のこと）。（※注 1）

（※注 1）：外す際に、パイプ固定用ナットと接続用 O リングを、槽内に落とさないよう、十分注意すること。



④取り外し後、散気装置はチェンブロックを用いて槽外に移動させる（連続して取り外す場合には、①～④の手順を繰り返す）。



⑤散気装置外面を十分に洗浄した後、母管止水キャップ 2 個/装置と枝管止水キャップ 30 個/装置を取り外す。（※注 2）



(※注2)：交換した廃棄部品は1箇所に集め、最後に総量の確認が行えるようにしておく。



⑥取り外したキャップ口に洗浄管のノズルを挿入し、中に堆積する汚泥を水洗浄により十分に排出する。

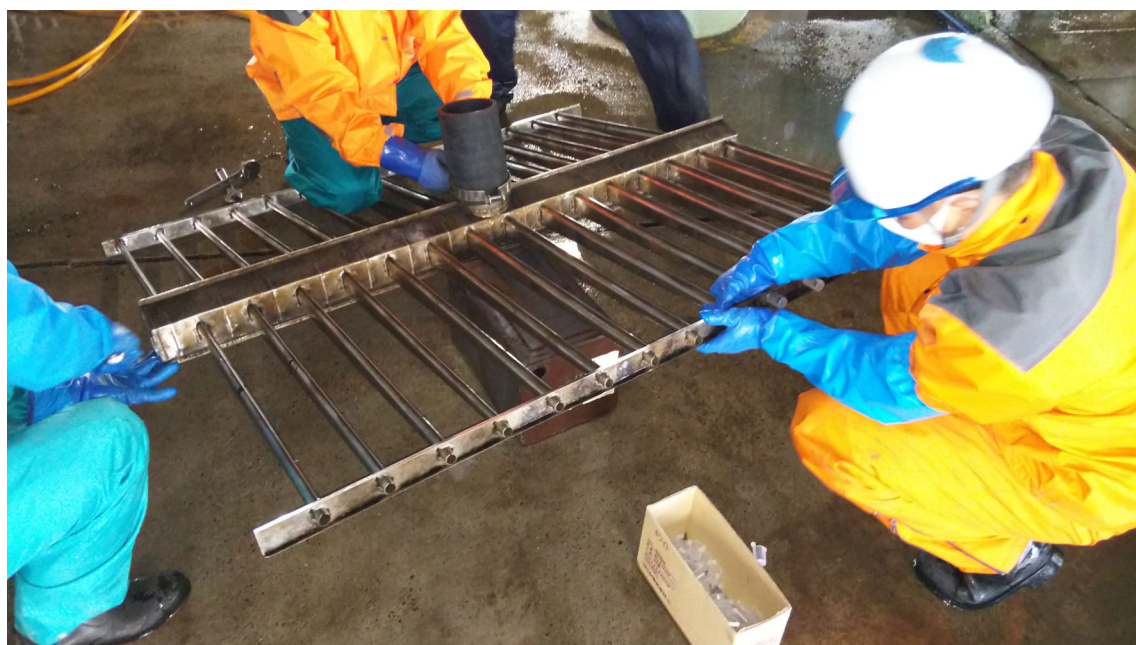


⑦ゴムジョイントは、ホースクランプ上下 2 箇所を緩め、交換する。

⑧母管止水キャップと枝管止水キャップを取付ける。(※注 3)

(※注 3) : 散気装置母管側ホースクランプは母管突起部より下側の位置に固定し、サービスパイプと散気装置母管の隙間は最小限にすること。

またゴムジョイントの中心部分がサービスパイプと散気装置母管の接触部に位置するように取り付けること。



⑨洗浄完了後、散気装置はチェンブロックを用いて槽内に移動させる。

⑩治具を設置し、散気装置を取り付ける。

⑪①～⑩の作業を繰り返す。

⑫作業終了後、作業場床全面を清掃する。

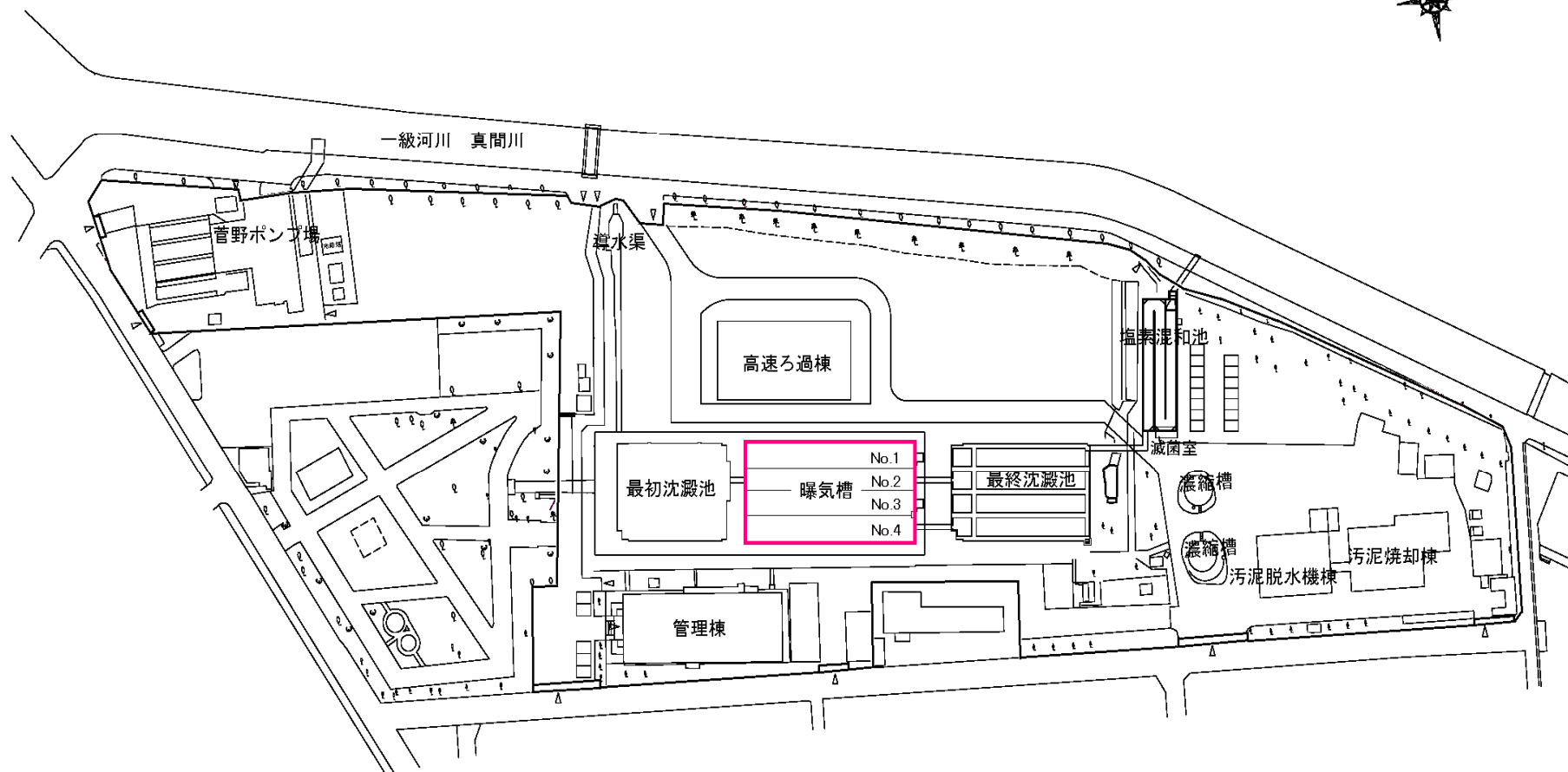
⑬バイパスゲート盤内のチェンブロック用ブレーカを OFF にし、室内電源ランプが消灯したことを確認する。

⑭チェンブロック（支給）の電源コンセントを外し、本体をレールから取り外す。

«注意事項»

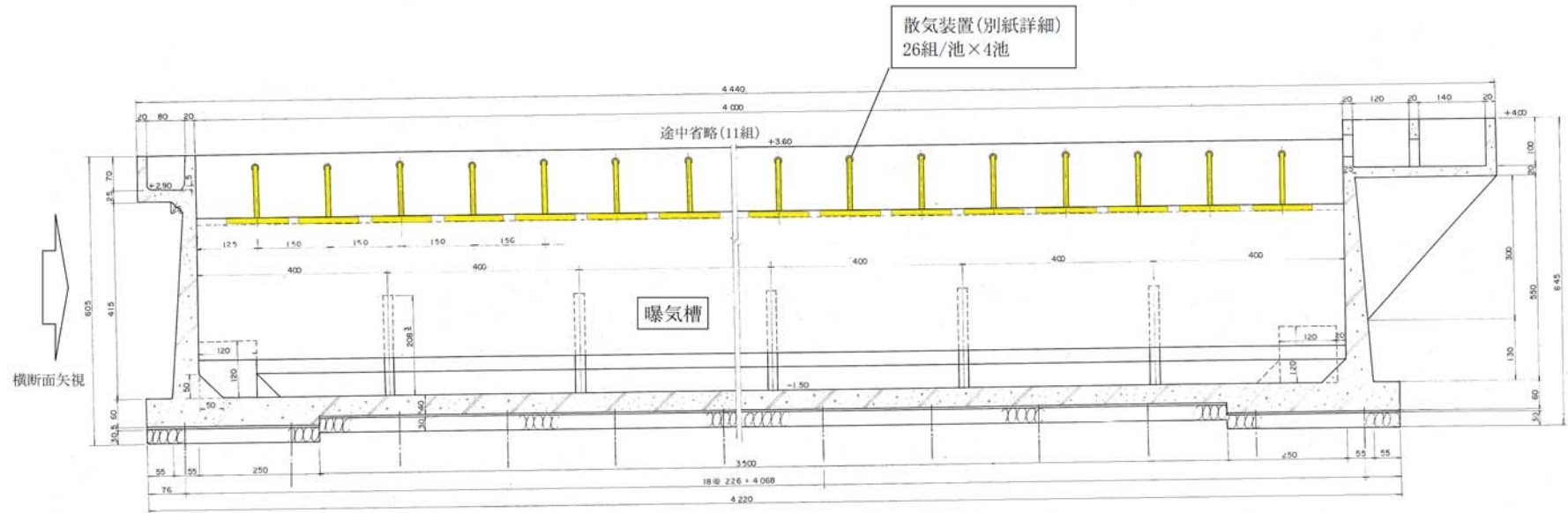
1. 万が一、作業中にナットや工具、Oリング等を曝気槽内に落下遺失した場合には、直ちに監督職員に報告を行い、指示を受けるものとし、決して未設置や未交換のままにしないこと。
2. 作業場は作業前・中・後とも整理整頓に努めること。
3. 給水タンクは 100 ℓ 以上、高圧洗浄機は 10 ℓ /分×4MPa 以上のものを用意すること。
4. 止水キャップは、はめあいが緩いと送風機の圧力により、容易に外れてしまうため、きつくなるものを選んで取り付けること。原則として結束バンドで固定すること。

終末処理場 場内案内図

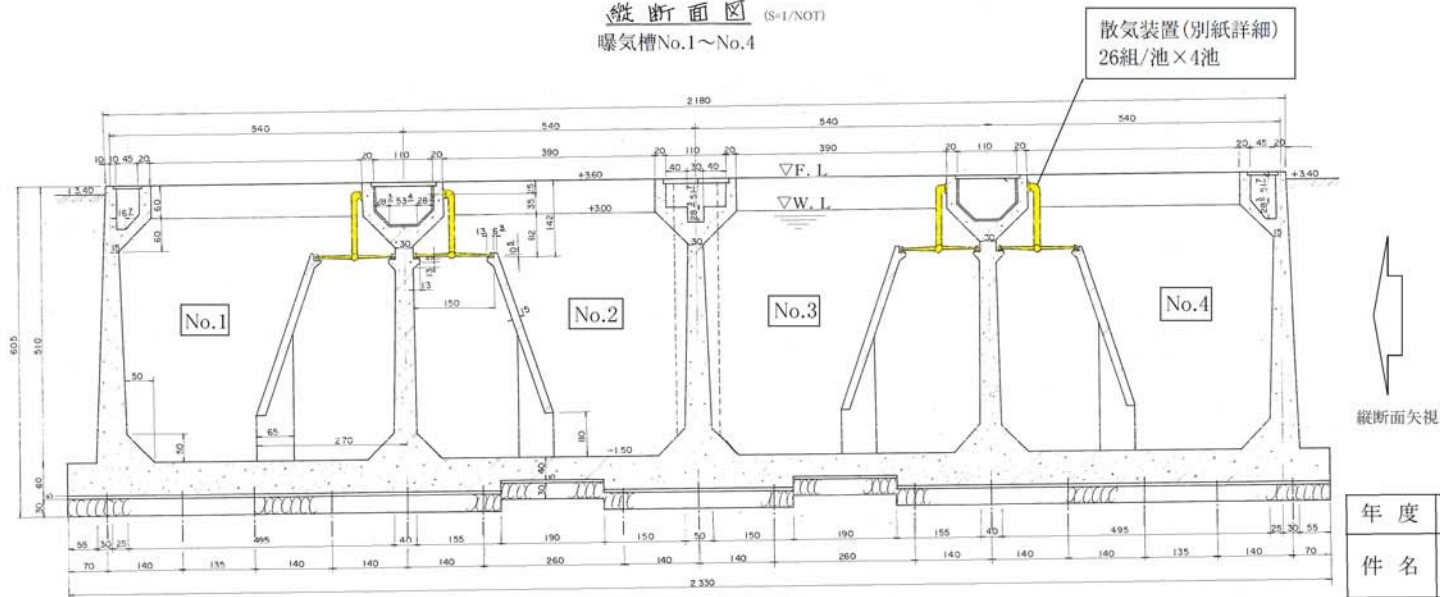


□ は委託箇所

年 度	令和7年度
件 名	市川市終末処理場 曝気槽散気装置清掃業務委託
図面名	場内案内図
発注者	市川市 下水道部 河川・下水道管理課 終末処理場



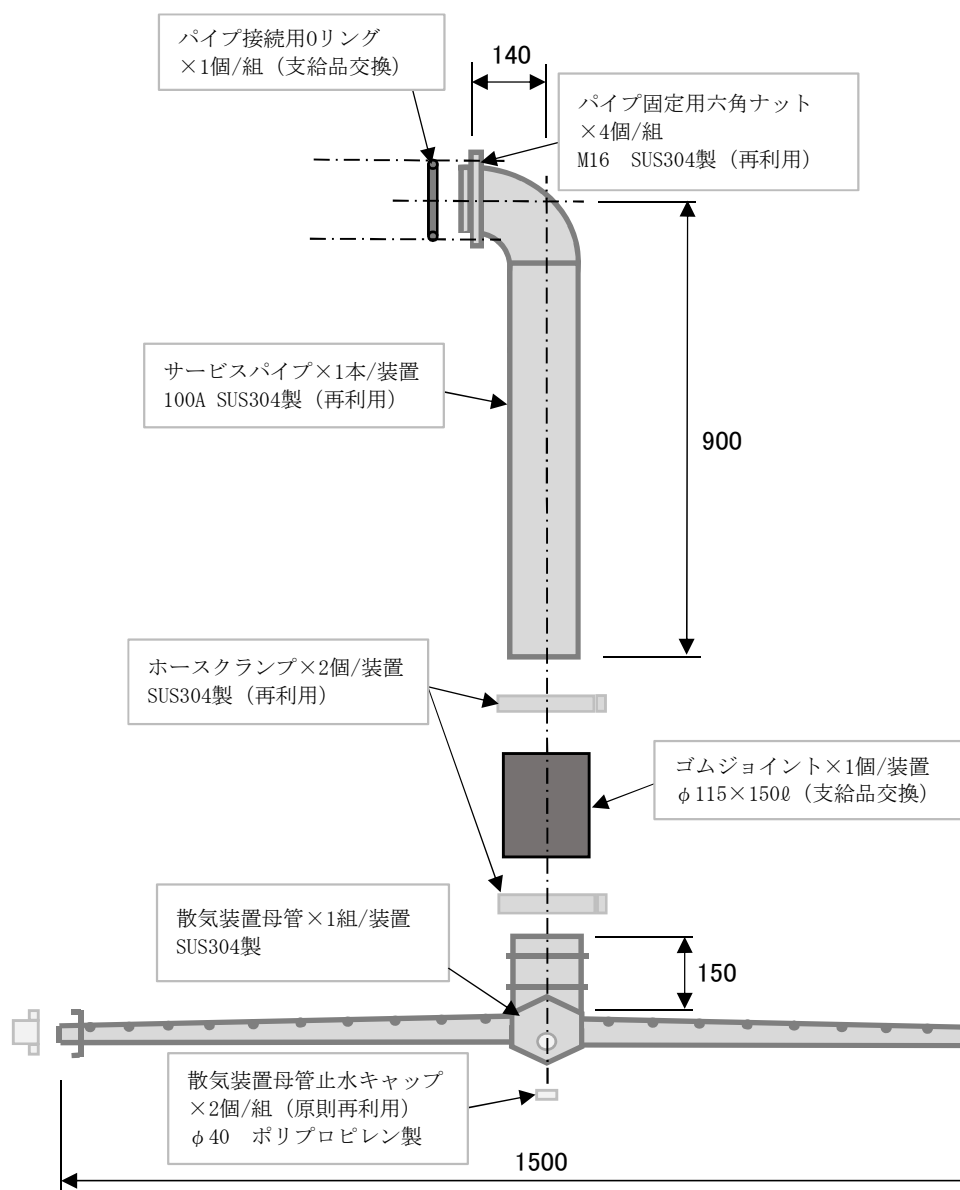
縦断面図 (S=1/NOT)
曝気槽No.1~No.4



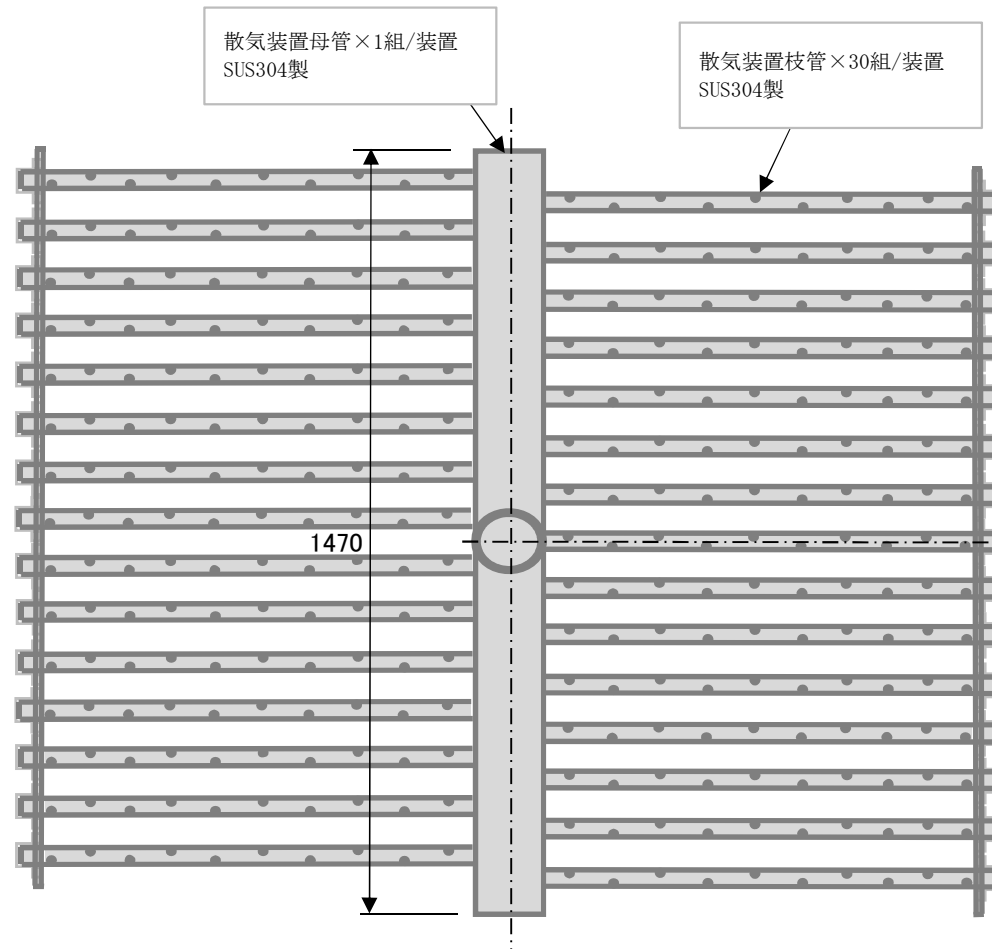
横断面図 (S=1/NOT)
曝気槽No.1~No.4

寸法単位: cm.

年度	令和7年度
件名	市川市終末処理場 曝気槽散気装置清掃業務委託
図面名	散気装置配置断面図
発注者	市川市 下水道部 河川・下水道管理課 終末処理場



散気装置分解図
(1組/装置×26装置/池×4池)



散気装置平面図

散気装置枝管止水キャップ
×1個/組 (支給品交換)
φ25×300 ポリプロピレン製

年 度	令和7年度
件 名	市川市終末処理場 曝気槽散気装置清掃業務委託
図面名	散気装置詳細図
発注者	市川市 下水道部 河川・下水道管理課 終末処理場